

## お知らせ



### 第18回健康走ろう会

日時 1月19日(日)  
受付 午前8時30分  
開会式 午前9時  
場所 三股町中央公民館前

#### 【種目】

- ・小学1～2年男女 1・0 km
- ・小学3～4年男女 1・5 km
- ・小学5～6年男女 2・0 km
- ・中学生・一般女子 2・0 km
- ・中学生・一般男子 2・0 km
- ・高校生・一般男子 5・0 km
- ・ファミリージョギング (12歳以下の子供とその家族) 2・0 km

#### 参加料

1人につき50円  
※申し込みは、1月14日(火)までに教育委員会生涯学習課へ  
☎52-1111 内線361

1月の納税  
県町民税4期  
保険税5期

詳しくは  
役場税務課  
52-1111

### 宮崎県最低賃金および産業別最低賃金が次のように改正されました。

(単位:円)

業種	最低賃金	時間額
宮崎県最低賃金	4,521	566
産業別	肉製品・乳製品製造業	4,750
	製糸業・紡績業	4,690
	電気機械器具製造業	4,903
	各種商品小売業	4,795
	自動車(新車)小売業	5,022

- 最低賃金は、臨時、パート、アルバイトなどを含めた全ての労働者に適用されます。
- 最低賃金の対象者となる賃金には、(1)賞などの臨時の賃金、(2)時間外労働などの割増賃金、(3)精皆手当、通勤手当および家族手当は含まれません。

#### 【問い合わせ】

都城労働基準監督署 ☎23-0192  
最低賃金テレホンサービス ☎0985-23-4811

### 町立病院内科医に 青木氏が着任



医師 青木敏浩先生(36)

町立病院内科医、田中哲夫先生の勇退に伴い、後任に青木敏浩先生が着任されました。

#### 【経歴】

昭和61年に島根医科大学医学部を卒業後、宮崎医科大学医学部大学院に入学され、第1内科研修医、日向病院内科医、南郷村立病院内科医を経て、平成6年に卒業。その後、アメリカに留学され、ミシガ

	日	月	火	水	木	金	土
①							1
②		3	4				
③		10	11				
④	16		18				
⑤		24	25				

数字は休みの日。

### 中央公民館図書室 2月の休館日

ン大学医学部消化器科、カリフォルニア大学サンディエゴ校医学部消化器科で学ばれ、12月から町立病院に勤務されています。

### 一般寄付

三股町社会福祉協議会では、10月に開催された藤間幸寿津(井上美智子さん)会の主催による藤間幸寿津師二十周年記念舞踊チャリティー公演会の収益金を次のとおり頂きました。

舞踊チャリティー寄付 5万円  
藤間幸寿津会 15万円

### 愛の「寄付」

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次のとおりいただきました。

故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。誠にありがとうございます。

寄付者	続柄	故人名	地区	金額
原口将樹	母	和美	東原	5万円
水元シズ	夫	廣	飯屋	3万円
上原マリ子	夫	弘義	谷	3万円
別府進	妻	ヒテ	植木	5万円
大重キミエ	長男	芳和	上原	2万円
二宮るみ子	養母	ミンエ	山王原	5万円
石坂治美	妻	春子	櫛田	3万円

### 編集後記

『1年の計は元日(元旦)にあり』。このことわざの意味は、1年の計画は、年の初めの元旦に立てるべきという意味。ところで、皆さんは、元旦に、1年の計画を立てられましたか? 私は、早いことは良いことと思いい、昨年末(12月30日)、大きな計画を立てました。「年が明けたらすぐに、海外旅行を、新車を、そして家を、などなど」。ただ、その計画は、元旦を前に水の泡のように消えていきました。「ああ、東京で買った年末ジャンボは……」。そこで、昨年を反省して、元旦に計画を立てました。「今年こそは、グリーン、ドリム、サマー、年末のいずれかで夢を、そして計画を……」。

### 三股町の人口

平成8年12月1日現在  
男 11,189人 出生 27人  
女 12,329人 死亡 6人  
計 23,518人 転入 89人  
前月比 +54人 転出 56人  
世帯数 8,263戸(+12戸)

今月号は、紙面の都合により「いきいきさん」は掲載しませんでした。来月号を楽しみに。

## 三股町町民憲章

- 一 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめましよう
- 一 教育を尊び青少年を健やかに育てましよう
- 一 環境を清潔にし健康の増進につとめましよう
- 一 生活をくふうしよい風習をつくりましよう
- 一 力をあわせねばり強く住みよい町を築きましよう

(昭和三十九年一月四日制定)



町木 ● イチョウ



町鳥 ● ホオジロ



町花 ● サツキ



# 年頭のごあいさつ



新年明けましておめでとうございます。ここに謹んで新春のお慶びを申し上げますと共に、町民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

三股町長 山元 勝博

## やさしさにあふれた まちづくりを目指して

### 新春を迎えて

町民の皆様には、平成9年の初春を、大きな期待と希望を持って迎えられたことと存じます。また、旧年中は、町行政運営に対し、格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。さて、昨年の国内における出来事を振り返りますと、学校現場では、病原性大腸菌O-157による集団食中毒が発生し、9600人余りの患者が出ました。町では、児童生徒の生命、健康を守る観点から、いち早く対策会議を開催し、衛生マニュアルの作成、施設や給食資材の消毒の見直し、調理方法の改善、調理施設を改良す

るなど、できるだけの手立てを尽くし、安全でおいしい給食の提供に努めました。

また、バブル経済の崩壊の影響による住専処理問題や金融機関の破たん、国の中央官庁による汚職事件など、国民の怒りが隠しきれない事件も多く発生しました。

一方、町行政を振り返りますと、町民の皆様や町議会の温かいご理解によりまして、ごみ収集袋の指定化や一般廃棄物処理場の建設事業、宮村南部農業集落排水事業、文化的な生活を目指すための図書館を併設した文化施設の設計の着手など諸事業を順調に推進することができました。

このほか、8月の夏の夜空を彩った第1回花火大会「昇龍inみ

また、10月に開催した第1回社会福祉大会、11月の第6回ふるさとまつり、第1回目の童謡まつり、12月の第5回交通安全駅伝競走大会と、連続して大きな行事を行ないましたが、盛大に、しかも成功裡に実施できましたことは、町民各位並びに各団体のご協力の賜物であり、ここに、改めて感謝の意を表しますとともに、町民一丸となった活力ある町づくりが、一歩一歩確かなものとして定着しておりますことは、ご同慶に耐えません。

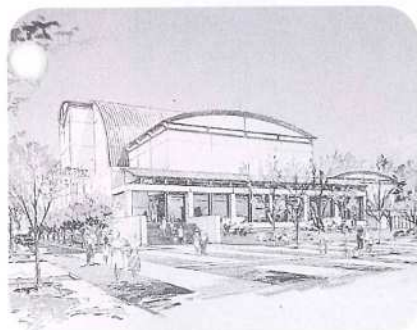
### 町のこれからの展望

三股町は、昭和23年5月に町制を施行し、来年の5月でちょうど

50周年という節目の年を迎えます。この間、農畜産業や製造業・サービス業などの順調な発展により、町は、大きく飛躍してまいりました。と同時に人口も増え、今や県下35町村の中で、人口規模で3番目、人口の伸び率では9市を含め2番目、現在、2万4千人に近づく勢いがあります。このことは、先人の方々のふるさとを愛する気持ちと、たゆまない努力によるものと深く感謝いたします。また、今後の地方自治のあり方は、地方分権の中で、町の将来像をはっきりと描き、その特性を活かした活力ある町づくりが要求されていきます。

私は、年頭にあたり、町長としての責務の重大さを改めて痛感するとともに、皆様方から寄せられた信頼と期待にこたえるべく、更に「やさしいまちづくり」をモットーに「個性的で活力に満ちた誇れるまちづくり」に全力を注いでいきたいと思っております。

このような状況を踏まえた上で、様々な事業を展開していきます。



総合文化施設完成予想図

「文教のまち三股」の復活と、うるおいある文化の育成を図るための「総合文化施設建設事業」、町制50周年記念式典に向けた記念誌の発行、住民の健康・福祉の増進と町民の交流、憩いの場を提供するための「温泉開発事業」、ボランティア活動の推進と福祉の充実が強く求められている中、その活動の拠点となる「総合福祉会館」の早期建設に向けた取り組み、長田地区の観光の拠点となる休養施設を兼ねた「物産館建設事業」、21世紀を目前にひかえ、訪れてくる超高齢化社会に向けた取り組み、公共下水道、道路をはじめとする生活環境の整備、農畜産、商工観光などの産業構造の再構築、上米公園、椎八重公園の整備事業、駅前周辺を整備するための基本計画の見直しなどに全力を傾注していく決意であります。これらの事業には、巨額の費用を要しますが、町民の皆様と町議会のご理解とご協力を賜りながら、私も地方自治は地方分権の趣旨をしっかりと踏まえ、更には、目前にひかえている21世紀を見据えて、住民の皆様が本心に安心して、誇りの持てる活力ある町にしたいと思っております。

終わりに、町民の皆様のごますますのご発展とご長寿をお祈りし、年頭に当たってのご挨拶といたします。

## 新成人に贈るメッセージ

どんな状況になっても  
こうと決めた目標を見失わないように

アトランタ五輪・サッカー日本代表チーム監督  
西野 朗



わたしが育った埼玉県浦和市は「サッカーのまち」小学一年生のころからサッカーに熱中したわたしは、小学校を卒業するときの作文集に、「将来は一流のサッカー選手になりたい」、そう書きました。今振り返れば「一流の……」などと、随分大それたことを言ったと思いますが、あの少年の日に描いた夢は、それから片時も胸を離れませんでした。

「世界を相手に戦える選手になりたい」。高校時代に、そんな思いはますます強くなり、早稲田大学に入っその夢を実現したいと考えるようになり、高校三年のときに、日本代表候補に選ばれたのですが、わたしはあえてそれを断りました。なぜなら大学でサッカーをやり、世界へ飛び出していくには、受験という関門を何としてもパスしなければならぬ。それで受験勉強を優先させたのです。

「何て、たわけたやつだ」と周囲から言われましたが、わたしとしては、大きな目標をかなえるためには、人生の節目の選択もやむを得ないと思っただけです。

大学に入ったわたしは、ひたすらサッカーに燃えました。生活のすべてがサッカーで、それ以外は何も見えないという感じでした。もちろん、練習に明け暮れる日々は厳しくつらいものでした。晴れて日本代表

に選ばれて、世界というものを体で感じられるようになったのが、皆さんと同じ二十歳のころです。他人の評価を気にすることなく、がむしゃらに一つのことを極めてみようというその意気こそが、若さというものです。サッカー一筋に突き進んだ青春時代を振り返って、そのことを痛いほど感じるのです。

### ときには 自信過剰なくらい 自分を主張する

「人間、願えばかなう」ということを、わたしはサッカーを通じて信じるようになり、アトランタ五輪代表監督として、世界最強のブラジルに奇跡といわれる勝利を収めることができたのも、チームの一人一人が「願えばかなう」を合言葉に、一つになったからだと思えます。

あのオリンピックでは、二十三歳未満の血気盛んな選手たちをまとめ、そのときに感じたのは、選手それぞれに意識が高く、自分をアピールしたいという個性にあふれていることでした。

サッカーに限らず、今の若い人たちは、そう捨てたものではないと思えます。個性的で、皆、力をもっています。大いに自分を主張することが、これからの若者には不可欠です。ときには自信過剰なくらいに自己主張し、夢に向かってまい進していっていいんじゃないでしょうか。

### プロフィール

西野 朗 (にしの・あきら) 昭和30年埼玉県生まれ。浦和西高校時代から大型のFW選手として注目される。早稲田大学1年時に日本代表初選出。53年から日本リーグの日立製作所で活躍し、60年現役最後のシーズンに8試合連続ゴールのリーグ記録を達成する。引退後はコーチを経て、平成4年日本ユース代表監督、8年アトランタオリンピック代表監督。現在、Jリーグ柏レイソルのフロントスタッフ。

### 人権擁護委員に桑畑氏



桑畑初也氏

平成7年から人権擁護委員を務められていた永山道得氏の死去に伴い、このほど、山王原にお住まいの桑畑初也氏(61)が就任しました。

略歴  
昭和10年2月17日生  
昭和32年3月宮崎大学法学部を卒業後、真幸中学校校長、高城中学校校長、姫城中学校校長、三股小学校校長を経て退職。

人権擁護委員とは、法務大臣から委嘱され、人権が侵害されたら、侵されるおそれがある時、いじめや体罰、そのほか、家庭内の問題、借地、借家、登記、金銭消費貸借問題などで悩んでいる方の相談に応じていただける方です。いろいろなことでお悩みの方は、お気軽にご相談ください。相談は無料で秘密は固く守られます。

### ▼町内の人権擁護委員

- 森木 秀明
- 赤池 徹
- 事務所
- 柿原 信知
- 桑畑 初也



# 平成7年度一般会計 歳入・歳出決算

平成8年12月、議会定例会で認定。  
これをもって、町条例「財政事情の公表」にかえます。

平成7年度一般会計歳入歳出決算の状況を次のようにお知らせします。

平成7年度三股町一般会計決算は、歳入総額7,804,564千円（対前年比6.2%増）、歳出総額7,613,377千円（対前年比6.1%増）、歳入歳出差引き191,187千円となっています。構成内容を見ると、歳入では町税を柱とする自主財源は32.2%と財政基盤は弱く、依存財源が67.8%と高い比率を示しています。一方、歳出の経費別内訳では、義務的経費が37.1%、投資的経費27.3%、經常的経費およびその他の経費35.6%の割合となっています。

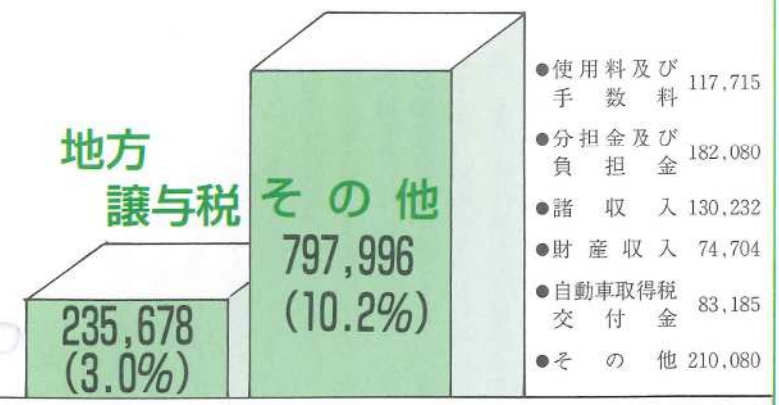
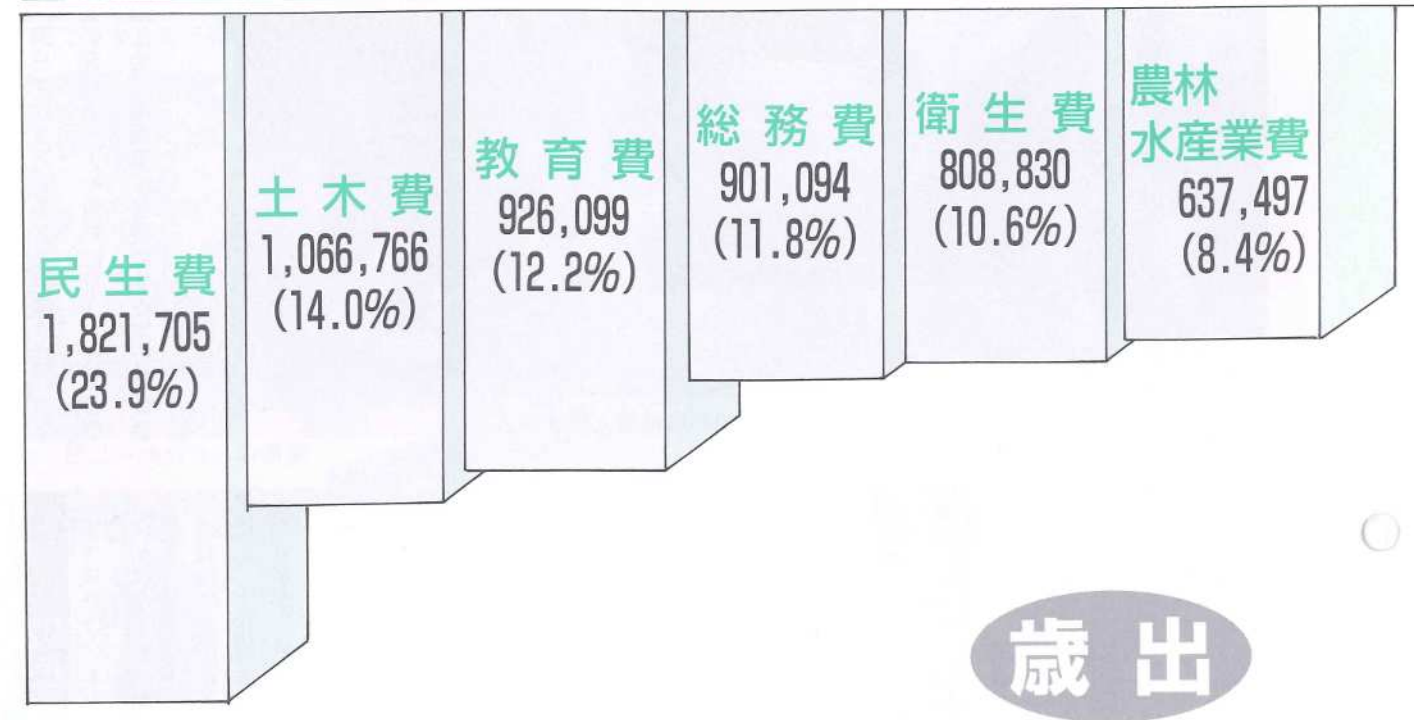
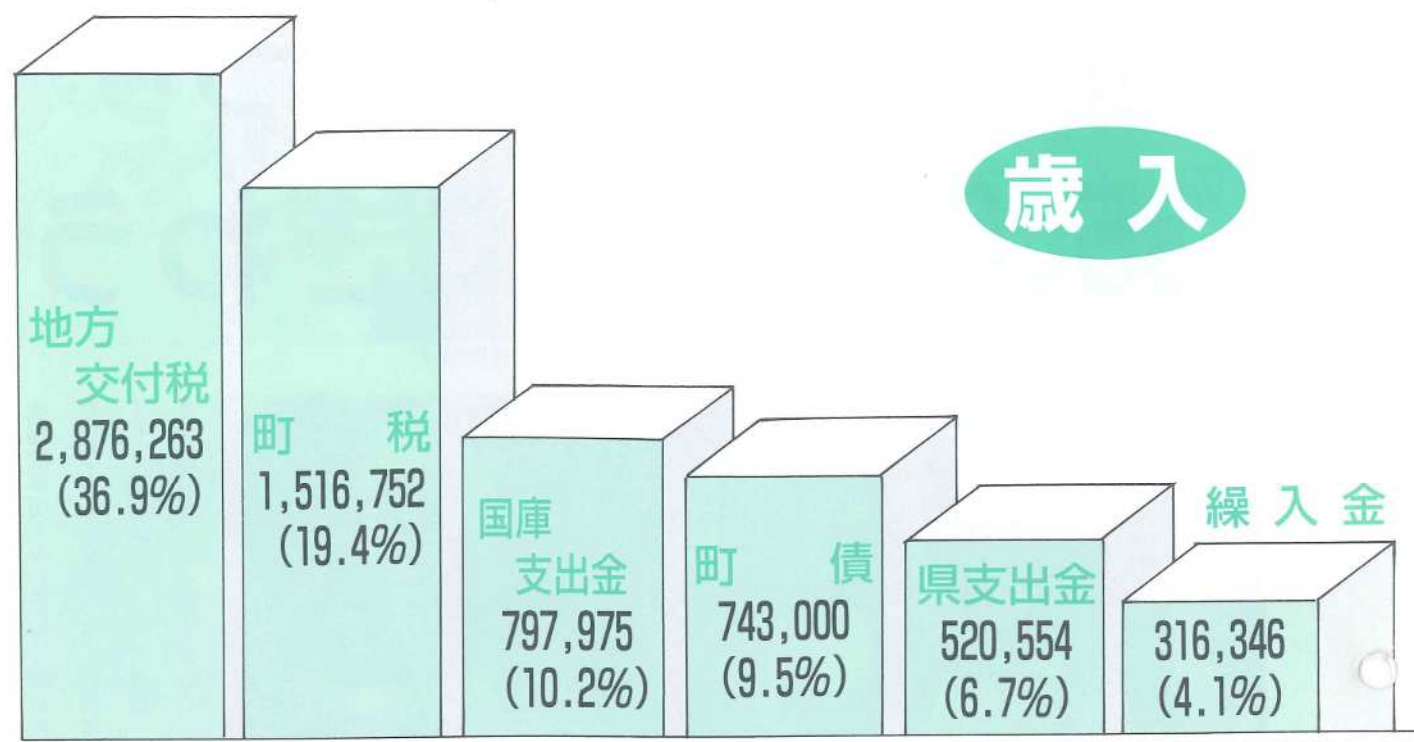
## 平成7年度の主な建設事業

(単位：千円)

総合文化施設整備事業	44,573
一般廃棄物処理場整備事業	290,674
中学校大規模改造事業	27,995
三股駅小鷲巣線道路改良事業	90,000
6地区公民館建設事業	278,102
中原コミュニティ建設事業	41,169
山王原上米線街路事業	35,625
山王原早水線交通安全施設整備事業	97,000
一町田公園整備事業	36,000
県単小規模排水事業	58,000

単位：千円

## 歳入総額 7,804,564千円



- 使用料及び手数料 117,715
- 分担金及び負担金 182,080
- 諸収入 130,232
- 財産収入 74,704
- 自動車取得税交付金 83,185
- その他 210,080

- 災害復旧費 26,377
- 消防費 185,489
- 議会費 95,086
- 商工費 147,951

## 歳出総額 7,613,377千円

### 特別会計決算

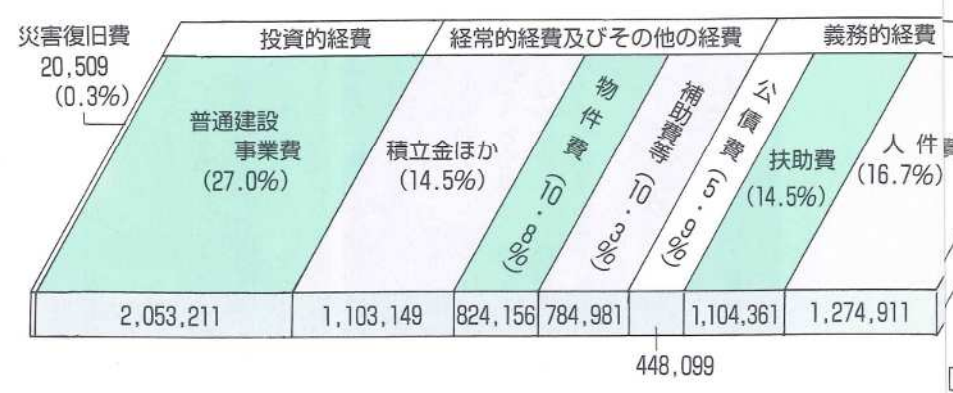
国民健康保険特別会計	歳入 1,634,513千円 歳出 1,398,675千円
特別会計	歳入 2,043,983千円 歳出 1,982,710千円
梶山地区農業集落排水事業特別会計	歳入 83,593千円 歳出 83,373千円
宮村南部農業集落排水事業特別会計	歳入 280,237千円 歳出 279,989千円

### 歳出

### 経費別内訳

単位：千円

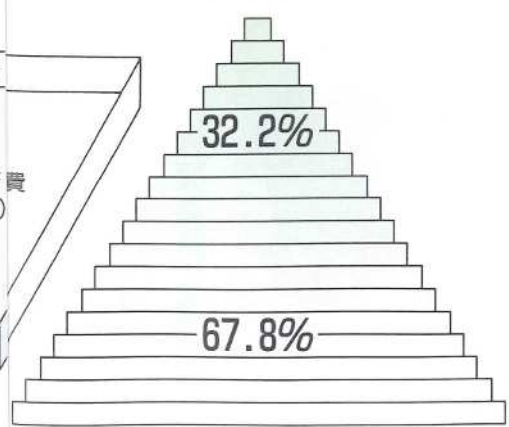
(統計分析による)



### 歳入

### 自主財源・依存財源の内訳

単位：千円



**自主財源**  
町税や使用料、手数料、財産収入などにより、地方公共団体が自らの意志に基づいて徴収するもの。

**依存財源**  
地方交付税や国庫支出金、県支出金などにより、国や県の意志決定で地方公共団体に交付されるもの。



# 第6回ふるさとまつり 35,000人でにぎわう

第6回三股町ふるさとまつりが、11月9日、10日の2日間にわたり、役場駐車場を中心会場に開かれ、両日で約3万5千人の観客が訪れにぎわいました。まつりは、町の産業の発展と、人や自然にやさしいまちづくりを進めようと、町、農協、商工会、龍雲塾、各種団体が実行委員会を組織して、取り組みました。



人間早馬競争大会に初参加の農協婦人部チーム

## パレードに 22団体が参加

まつりでは、オープニングに先立ち、農協青年部が運転するトラクター、耕運機を先頭に、三股小学校鼓笛隊が続き、保育園児、幼稚園児、文化協会など22団体、約550名が三股駅から会場までを仮装したり、いろいろな趣向を凝らしてパレード。中には、ふうてんの寅さんそっくりな方もあり、笑い声が聞こえる場面も……。沿道には、黒山ののりだかりがで、初日から大いに盛り上がりまし

た。オープニングセレモニー後、三股中学校吹奏楽部による演奏で幕を開け、都城市出身の彩さとみ歌謡ショー、社会人のバンドグループ「ビニールハウス」によるエレキギターの演奏、高校生のグループによるライブが行なわれ、夕方までにぎわっていました。

## 人間早馬に10チーム

2日目は、昨年、好評だった「人間早馬競争大会」が10チームによって行なわれました。この競技は、1チーム8人で、約300キロの砂袋を積んだソリを8メートルほど引張るタイムトライアル。どのチームも息を弾ませソリを引っ張り、息たえだえにゴール



優勝した消防団第2部Aチーム

する場面も見られました。結果は、消防団第2部Aチームが、昨年引き続き2連覇。賞金5万円と副賞として5万円の旅行クーポン券を手に入れました。今回は、女性だけで構成する農協婦人部チームが初参加。黄色と黒のコスチュームが鮮やかで、観衆の目を引いたことから「決まったで賞」が贈られました。

メインステージでは、MRTラジオ公開生放送によるカラオケ歌合戦、歌謡ショー、ヒマナスターズによるお笑いショー、お楽しみ抽選会など様々な催しが行なわれました。

中でも、盛り上がりを見せたのは、角川博ショー。一目、その姿を見ようと会場は、約5千人の観衆で埋め尽くされ、歌が終わるたびに大きな拍手が沸き起っていました。

一方、まつりの恒例となっている牛サイコロステーキ大試食会では、2千人が最上級の都城牛に舌づつみを打ちました。

また、最近、子供達の間で大流行している「ミニ四駆」の競争大会が開かれ、受け付け開始1時間前から、自慢のミニ四駆を手にして、並んでいる子供達も見受けられました。大会が始まると、特設コースに多くの子供達が群がり、関心の高さを伺わせました。

訪れた方々は、一つ一つの作品に見入っていました。また、五本松公園では、フリーマーケットやぶどうの会の主催による本の無料交換会が行われ、思い思いのものを手にして、喜んで帰っていく方々の姿が見受けられました。

沿道では、農畜産物や地場産品が展示即売され、袋いっぱい買い求める方々が多く見られました。



よく見てろ(親子ふれあい工作コーナー)



大にぎわい「ミニ四駆」大会



お姫様と王子様(パレードより)



忍者でござる



早く焼けないかな〜(大試食会より)



熱唱する角川博さん



かわいらしい子供の共演

## まつりの ハイライト 写真



ミッキーの行列



ビニールハウスの演奏



カラオケ歌合戦で優勝した竹之下智子さん



安いよ、どうだい(バナナたたき売り)





月謝袋  
藤井宏昭さん (28歳)  
本山幸仁さん (28歳)

最高でした！

「私たちは、高校時代の同級生です。最近、三股町のピアノ教室に通っています。教室の先生に勧められて、まつりに参加しました。思い出になると思ったので…」。

「毎月、袋に月謝を入れて持っていきますので、この名前に決めました」。

「練習したのは2時間ぐらいでしょうか。大勢の人の前で歌えて、楽しむことができ、良い思い出になりました」。

「あーはずかしかった。でも、気持ちよかったです」。  
「カラオケを始めて、まだ5カ月あまりです。カラオケ教室は、月に2回開かれています。教室は、楽しいですよ」。  
「こんなに大勢の人を前にして歌ったのは初めてです。みんなそろっての練習は1ヵ月ほど前からです。歌うことは趣味です。また来年も参加したいと思います」。



7地区カラオケ同好会  
田実タミ子 (70歳)

今年の6月から  
カラオケを始めて



親子そろってきれいな歌声

まつりの  
模様



元気な歌声「元気ッ子クラブ」



子供4人による合唱

大学生のコンビ「ザ・パンクス」の熱唱



老人ホーム「清流園」の方々による合唱



エーデルワイス音楽幼児園の皆さん



あたたかい心が伝わり

魅了した「童謡」

第1回童謡まつりinみまた

第1回童謡まつりinみまたが、11月17日、三股小学校体育館で盛大に開催されました。

まつりは、日本に古くから伝わり、人々の生活や情感、自然、文化をうまく表現した童謡やわらべ歌を歌うことによって、「心の豊かさ」や「ゆとり」を呼び起こし、かおり高い文化と豊かな人間性を培う文教の町づくりを目指すと、童謡を愛する方々で組織された「童謡まつりinみまた」実行委員会(会長 愛甲進一さん他委員12名)が主催し、町と町教育委員会が共催して実施したものです。

開会式で、愛甲会長は「童謡は、人々の心を豊かにします。会場の皆さんと大いに楽しみましょう」と挨拶。

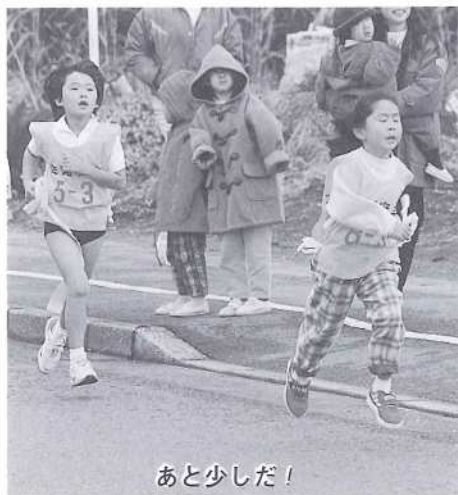
開会式終了後、町内外から参加申し込みのあったコーラスグループや園児、学生、家族、カラオケ同好会など24の団体が、それぞれ、まつりに向けて練習した童謡やわらべ歌を披露。発表が終わるたびに、会場に詰めかけた約500人の観客からは、大きな拍手が沸きました。

まつりの最後では、観客と出演者の合同による「ふるさと」の全体合唱が行われ、なごやかな雰囲気の中、閉幕しました。



# 第6地区がV5達成

## 第5回 交通安全駅伝競走大会



あと少しだ!



よし ガンバルぞー!



頼むよー!



1位っていいなあー!



選手宣誓する竹ノ下さん



V5を達成した第6地区の選手のみなさん



親子4人で出場した野崎さん家族



消防団ラッパ隊の演奏によりパレード



寒い中声援する人達



最終ランナーのゴール



交通安全宣言をする中西初子さん

第5回交通安全駅伝競走大会が、12月1日、役場正門前をスタート・ゴールとする24区間、約30キロメートルのコースで行なわれました。

この駅伝競走大会は、交通安全に対する町民の意識を高め、交通事故・違反のない明るく住み良い町づくりを進めようと、町と交通安全協会三股支部・体育協会が自治公民館連絡協議会の協力を得て開いているものです。

大会には、各地区の代表の9チームに夢池チームが加わり計10チーム、240名の選手が出場。開会式を前に、町体育館から役場駐車場までを消防団ラッパ隊の演奏により、交通安全の横断幕を持った大会関係者がパレード。

開会式では、6地区の竹ノ下美香さん(小学6年)が力強く選手宣誓した後、午前9時50分、町消防団の消防車による交通安全パレードが発進し、午前10時、寒風が吹き、凍てつくような寒さのなか、ピストルの合図で、第1走者がスタート。小学低学年から高学年、中学生、青年、壮年へとリ

レー形式で次々にタスキを受け継ぎました。

大会は、町内をほぼ1周する形でコースが設定されており、中継所や沿道には大勢の町民が詰めかけ、「ガンバレー!」「あと少し!」と大きな声で声援。声援を背に、選手たちは至るところでデッド・ヒートを展開していました。結果は、第6地区が、接戦を制して5連覇を達成しました。また、あらかじめゴール予想タイムを申告して、ゴールタイムとの差が少なくところから順位が付く「申告タイムの部」でも、第6地区が実走とわずか5秒の誤差で1位を獲得しました。

また、昨年より順位を上げたチームに贈られる「躍進賞」は、第7地区が獲得しました。

### 大会順位

優勝 第6地区(1時間47分5秒)  
 第2位 第2地区(1時間47分38秒)  
 第3位 第5地区(1時間48分14秒)

### 申告タイム順位

(-)は、申告とゴールのタイム差  
 優勝 第6地区(5秒)  
 第2位 夢池地区(6秒)  
 第3位 第5地区(2分14秒)

区間賞 (敬称略)  
 [1区] 800m 小学低学年女子 中原 唯 (3分23秒)

- [2区] 800m 小学低学年男子 福田 裕太 (3分27秒)
- [3区] 800m 小学低学年女子 中神みゆき (2分57秒)
- [4区] 800m 小学低学年男子 中原 祐亮 (2分48秒)
- [5区] 1km 小学高学年女子 和気 沙織 (3分7秒)
- [6区] 1km 小学高学年男子 小島 成喜 (3分36秒)
- [7区] 1km 小学高学年女子 尾崎 智美 (3分47秒)
- [8区] 1km 小学高学年男子 上池 真琴 (3分25秒)
- [9区] 2.5km 中学男子 鍋倉 浩美 (7分57秒)
- [10区] 2.5km 中学男子 下石 孝太 (8分10秒)
- [11区] 1.5km 中学女子 青屋 由美 (4分29秒)
- [12区] 1.5km 中学女子 黒木 千草 (4分25秒)
- [13区] 1.5km フリー男子 桃田 佳典 (4分22秒)
- [14区] 1.5km フリー女子 原田寿美恵 (5分4秒)
- [15区] 2.5km 29歳以下男子 瀬尾 貴英 (7分37秒)
- [16区] 1km 29歳以下女子 下村 沙織 (3分19秒)
- [17区] 2km 30歳代男子 前田 利保 (6分18秒)
- [18区] 800m 30歳代女子 黒木 瞳 (2分51秒)



# ふるさとのきずな深まる

## 第1回近畿三股会に82名

### 新会長に野崎氏

総会では、組織結成の経緯について、発起人から説明があった後、役員を選任、規約などが協議され、会長に長田出身の野崎博美さん(59)、副会長に仲町出身の加賀勝蔵さん(54)、会計に仲町出身の田中淳子さん(54)(旧姓、三浦)が決定し、これから、年1回総会を開催することも決まりました。



町旗をバックに会の結成を喜ぶ(中央が野崎さん)

大阪府・兵庫県・愛知県など、近畿地方に在住する三股町出身者の会が、このほど組織され、その第1回総会が、11月24日、大阪市内の中華料理店で、にぎやかに開催されました。

当日、会場に訪れた方は、82名。その顔ぶれは、会社員、公務員、事業主、主婦など様々で、遠くは、三重県から訪れた人もいました。

総会の後、懇親会が会場で開かれ、冒頭、野崎会長は「長年の夢であった会が、ここに結成され、本当にうれしいことです。今日は、ふるさとに帰ったつもりで楽しく過ごしましょう」とあいさつ。

山元町長は、「ふるさと三股町は、豊かで住みよい活力ある町づくりを目指して、頑張っています。これからも、皆さんの期待にこたえられるよう、また、遠く離れている方々が、ふるさとを誇れるように、なお一層頑張っていきます」とあいさつしました。

野口議長は「多くの方々に参加され、大変うれしく感じます。皆様方のふるさとに対する期待を一心に受けとめ、これからの町政の発展に議会としても真剣に取り組んでいきます」とあいさつしました。

懇親の場では、何十年ぶりの再会で、話が盛り上がり、ビンゴゲームやカラオケなどが行なわれるなど楽しいひとときでした。



上原順子さん(52歳)  
(上米出身)

ふるさとの  
自然が大好きです

現在、私は、小説を執筆しています。その題材に、ふるさと三股町を用いることが多く、幼いころ育ったふるさとの自然や景色などをよく思い浮かべます。

今回、三股会が結成されると伺い、楽しみでやって来ました。来てみて、本当に良かったと思います。これからも、この会の開催を楽しみにしています。

現在、三重県鈴鹿市在住。



会場はいっぱい

懐しさと親しみを  
感じました



満行俊彦さん(54歳)  
(梶山出身)

私は、昭和31年に大阪にやって来ました。

それから現在まで、同郷の人が参加する会に出席したことがありませんでした。

ですから、この会の案内状をいただいた時は、ビックリしました。

今回は、梶山の方々との出会いや懐かしい人に出会えて、大変うれしく感じました。

方言はいいですね



桐山のぶ子さん(48歳)  
(勝岡出身 旧姓：財部)

大阪方面に住む方を集めて、毎年同窓会を開催しています。その世話役の1人です。先週、第5回の同窓会を開催したばかり。

今日は、その時に出席していた同級生12名で参加しています。

みんなとしゃべるときは、方言に戻りますね。

今日は本当に楽しめました。来年も、ぜひこの会に出席しようと思います。

主人は、世話好き  
ですから



会長夫人  
野崎リイ子さん(60)  
(下新出身 旧姓：山下)

今回、会が組織されて本当にうれしいです。

主人は、前々からふるさとの人が集まる会を結成したいと言っていました。

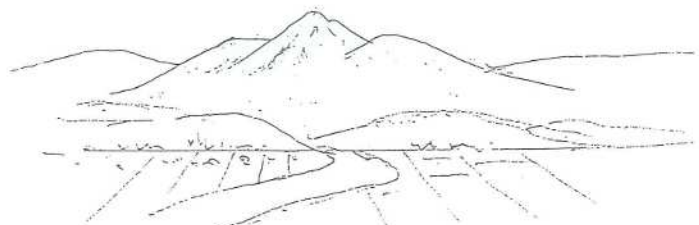
そして、大阪に住む方々6名が発起人となって、6月から準備を始めました。

時には、会社から帰ってきて、夜遅くまで、会の資料作りのために、ワープロを打っていることもありましたね。

主人は、本当に世話好きな人だと思います。





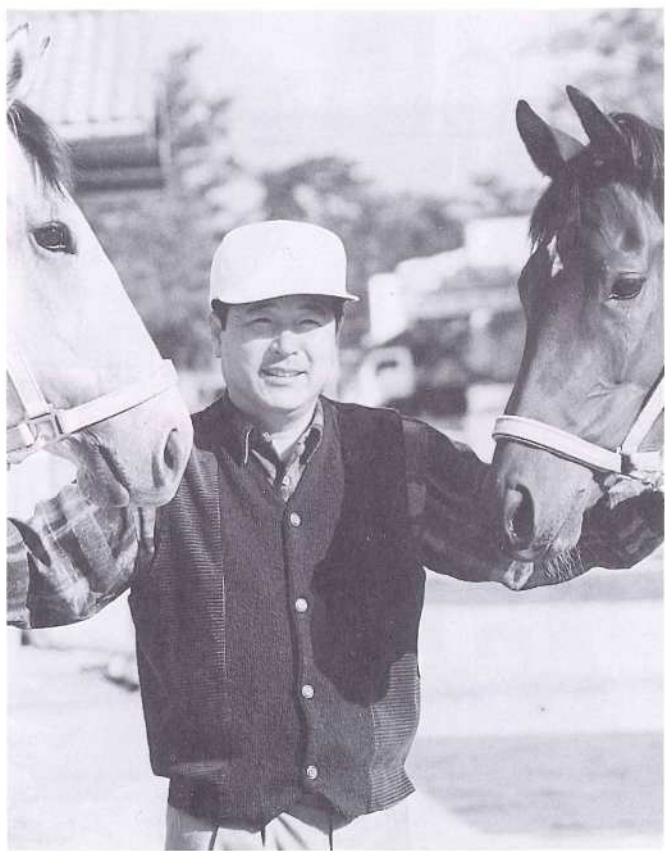


日本中央競馬会調教師

### 橋口 弘次郎 (51)

(前目出身)

寒さが厳しくなると、いつも思  
い出されることがあります。それ  
は霧島おろしの寒さの中で勝岡小  
の校庭での雪だるまならず、霜だ  
るま作り。三股中の教室の前の庭  
での中腰に連なり、それに飛び乗  
るといふ馬乗り遊び。今思い出し  
ても、なつかしくその時の光景が  
目に浮かびます。その遊びのなか  
で、一人だけ抜群に体格の立派な  
少年。その名は荒武公治君。彼と  
味方になることを祈って、敵、味  
方のジャンケンをしたことが、つ  
い昨日のように思い出されます。  
地球までが温暖化し、霜柱はみ  
られなくなり、子供の遊びまでが  
インドア化し、時代の移り変わりを  
感じつつ、気が付いてみれば五  
十才の大台。しかしながら、いつ  
見ても霧島山だけは相も変わら  
ず、威風堂々とそびえ立っていま  
す。望郷の想いがある時は、何と  
いっても、私にとっては霧島山で  
す。気持ち落ちつくというか、  
頑張れと励ましてくれているよう



です。  
現在、私は、日本中央競馬会と  
いうところで調教師稼業をやって  
おります。競争馬約2、300  
頭、家族を含めて約4、500人  
が住む琵琶湖を望む栗東トレーニ  
ングセンターという競馬村で、馬  
と寝食を共にしております。  
競馬と申しますと以前は世間で、  
あまり良くみられませんでした  
が、今日では一大レジャー産業と  
して社会に定着し、これも時代の  
移り変わりとして申してもよろしいで  
しょう。

では、都城盆地の総人口と同じく  
らいの二十万人近い観衆で、一大  
ライブと化します。マスコミもN  
HKをはじめとするテレビ局や各  
スポーツ紙が群がり大変な賑わい  
です。  
平成四年のレッツゴーターキン  
号での天皇賞。そして今年の秋に  
行われたダンスインザダーク号で  
の菊花賞で優勝した時は、表彰台  
に上がることが出来、夢見心地の  
心境を味わうことが出来ました。  
このような華やかな社会ではあ  
りますが、何といっても厳しい勝  
負の世界。困難な時が、しょつ

ちゆうです。その様な時に、私の  
心の支えとなって励ましてくれる  
のが、中学卒業時の当時の町長さ  
んの「三股魂を忘れるな」という  
激励の言葉です。これは少々の事  
で、くよくよするなへこたれる  
なノということだと捉えていま  
す。  
最後になりましたが、父親も、  
すでに八十四才ですが、お陰様  
で、とても元気になっております。  
毎土日曜の息子の競馬中継を一番  
の楽しみにしている様で、私も頑  
張り甲斐があるというものです。  
今後共、皆様に温かく見守って  
やっていただくことを願っています  
と共に「ふるさと三股町」がいつ  
までも、私達に誇れる町として  
益々発展していくことを心から  
祈っております。

今回は私をいつも応援してくれ  
ている気象大学の教授である前  
目出身の重久陽亮さんへリレーし  
ます。

## ふるさとへの便り

### 紙面国際交流コーナー



ジェーソン・ウィリアムス

皆さん、新年おめでとございます。

HAPPY NEW YEAR!  
三股の冬は、寒くて(さみもさ  
み)も見上げると、からっと晴れ  
た、広大な空が目に入って、気分  
も晴れ晴れします。私の育ったイ  
ギリスの南部地方は、冬になる  
と、灰色の雲が空を覆って、たま  
に太陽の日差しが見えてくると、  
大変有り難いと思います。なぜか  
というと、イギリスの最も南の方  
なのですが、北海道よりずっと北  
に位置しているため、日照時間  
が、こちらより短く、真冬の日の  
出は八時過ぎで、日暮れは三時頃  
なのです。南九州はやっぱり亜熱  
帯地方だと実感します。

さて、今月は、もう過ぎてし  
まったクリスマスとお正月のこと  
について話したいと思います。  
日本では、お正月とお盆の時期  
に、本家に里帰りしますが、イギ  
リスでは、クリスマスとお正月に  
家族が集まります。伝統的に言え  
ば、この祭りはクリスマスイブ  
(12月24日の夜)に始まって、十

二日節(1月6日の夜)まで続き  
ます。十二日までにクリスマスの  
飾り付けを取り外す習慣がありま  
す。

イギリス人は、どこの人よりも  
クリスマスに大事にする国民だ  
という気がしますが、それは、必ずし  
もキリスト教の信仰が厚いからだ  
という訳ではないのです。私の家  
族の場合も、宗教的な意味が一切  
関係なく、ただ家族が一緒にゆっ  
くりしたり、友達や親戚に会って  
過ごしたいのです。

イギリス人は、どれほど家族と  
一緒にクリスマスを過ごすことを

## おめでたい季節

大事にしているかについて、最  
近、面白い話を聞きました。都  
城盆地の方々には、リチャード・ブ  
ランソンという名前を知っている  
人が多いと思います。彼は、イギ  
リスのヴァージンという会社の社  
長で、8年ほど前、気球に乗って  
都城からカナダまでの太平洋横断  
飛行に成功した人です。彼は、何  
度も失敗を繰り返しました。それ  
は、天候が悪かったことが一番大  
きかったのです。だから、飛行に  
適した良い天候をずっと待ってい  
ました。ちょうどクリスマスの直  
前だったそうです。天気が良くな

りそうなどころで、リチャード・  
ブランソンと随員達が「じゃ帰り  
ますよ」と言って、姿をいきな  
り消したそうです。その冒険が、  
命懸けのことで、生きるか死ぬか  
は天気次第。ですから、天気的情  
報を毎日検討していたそうです。  
だから、彼の行動に、回りの日本  
人は驚いたらしいのです。つま  
り、大冒険よりクリスマスで楽し  
むことの方が、彼にとっては大事  
だったのですね。

イギリスの子供は、クリスマス  
の贈物の次に食べ物を楽しみにす  
ると思います。12月に入ると、お  
と、よだれが出ます!皆さんはこ  
れを読んで、かえって気持ち悪い  
と言う人がいるという気がしま  
す。では、スコットランドのクリ  
スマスの料理はどうなのでしょう  
か。あそこは、ハギスという食べ  
物が盛んで、ハギスとは、羊など  
の臓物を刻み、オートミールや脂  
肪と共に、その胃袋に詰めて煮る  
料理です。これはどうですか。私  
は食べたことがありませんが、い  
つか冒険しましょうか。

前からはホームビジットという計  
画を作っています。ホームビジッ  
トとは、町内の家族が、私を家に  
呼んで、一緒に雑談や食事をする  
ということなんです。残念なこと  
に、一年半で一回しかやったこと  
がありません。私は料理が下手で  
だから、声を掛けていただいた  
ら、すつとんできます。遠慮なく  
呼んで下さい!なんでもかんでん  
食べるもんで。

母さん達は、季節的な食べ物を作  
り始めます。その代表的なもの  
は、ミンスパイとソーセイジロー  
ルの二つです。ミンスパイは、練  
り粉の中に刻んだ干しぶどう・リ  
ンゴ、砂糖、香料、スエツトが混  
ぜてあります。スエツトとは、牛  
とか羊の腎臓や腰部の硬い脂肪で  
す。昔は、スエツトから石鹸やろ  
うそくも作りました。ソーセイジ  
ロールは、ひき肉をパイ皮で包ん  
で焼いた料理です。クリスマスの  
日の昼食は、焼いた七面鳥とジャ  
ガ芋と野菜が伝統的なものです。  
書きながら、この料理を思い出す



退院を祝って三股小の生徒が作ってくれました。本当にうれしかった。ありがとう。



# 子供の声を聞く会

(その2)

わたしのふるさと

三股町

梶山小学校 六年

別納 麻衣美



最近、私は学校から帰るとすぐに郵便ポストの中を確かめるのが日課となっています。他の学校に通っている文通友達からの返事を楽しみに待っているからです。

これらの友達、今年の夏休みに参加した「ふるさと探検団」や「沖永良部研修会」で知りあった友達です。

この手紙のやりとりで、普段は会うことができない友達のことを良く分かったので、たいへんうれし

いです。私は手紙に書きたいことがいつもたくさんあります。今考えていることや、家でおこった出来事、その中で学校や地域のことは文通している友達の所とはちがった面

がいろいろあるからです。

このちがいを知ることが出来るのは、前にも述べた二つの研修に参加できたおかげです。他の地域の様子を知って、役に立ちました。

それが、他の地域と自分の郷土と比べてみるきっかけにもなったのです。

そうすることで、自分の郷土のこともっと良く知ることが出来たと思います。

先日、私は手紙に運動会で梶山の「棒おどり」をおどること、その練習の様子などを書いて友達に送りました。

すると、返事に、「棒おどりですごいわね。一度見てみたい。」などということが書いてありました。

この返事を読んで、友達が棒おどりをみてくれたことがとてもうれしかったのです。

自分の郷土を知ることが、郷土をますます好きになることにつながるということがわかりました。

郷土のことを好きになると、すばらしい面がたくさんあることが分かるし、もっとよくしたいという気持ちも強くなりました。

私が三股町の好きな所は、自然と一体化した河川プールや、上米部島のように、いつまでも美しい所であってほしいと思いました。人間がおこした問題は、やはり人間が解決しないとけません。私が見どりの少年団で活動してきたこと、また、今からどんな活動していくこと、それだけでも小さな地球をすくつていきます。地球はたった一つの私たちがふるさとなのです。ですから、一人一人が地球を大切に、未来のことを考えて行動しなければならぬと思います。

## 僕の進むべき

道について

三股中学校 三年

外山 隆 司



中学3年生ともなると、いやでも自分の将来のことを考えてしまおうようになる。しかも、社会の現実も見えてくるにつれて、小学校の頃に思っていたような夢はほとんどなくなってしまう。

僕は、小学校の頃には、漫画家になりたいと思っていたのだが、漫画家が大変な職業であることを

公園、つじヶ丘公園などです。これらの施設は、ゴミも落ちていなくて、花などもきれいに咲いているので大好きです。

また、「棒おどり」や「俵おどり」などの伝統的なおどりは、見るのもおどるのも大好きです。

みんなが大切だと思える郷土とするために守っていかなくてはならない伝統芸能だと思っています。

そのために、まず三股町を郷土とする人達みんなが、三股町のことを良く知ることが必要だと思えます。私が経験したように、自分の郷土を知ることが自分の郷土好きになる第一歩だと思っています。

次に良い伝統などは次の世代に伝えることが必要だと思っています。私は祖父祖母とたくさん話を聞いて、いろいろな事を教えてもらっています。

私が三股町でもっと良くしたいと思う所は道路や川沿いのゴミをなくすことです。

公園などにゴミがたくさん落ちていて、私には、姉が小学生のころは、ふなをとって遊んだことがあるそうです。今はとても魚がすんでい

るようには見えません。私は、ゴミを捨てることも大切だと思えますが、もっと大切なことはゴミを捨てないという小さな行いですが、それは三股町が美しくなるという、大きな行いにつながる

ことだと思っています。

これまでに書いたように、私は私の郷土三股町をみんなが大好きだと思える三股町にしたいと思っています。三股町のことももっともっと知りたいたいです。そしてみんなが知恵をまわし三股町のためになることを実行していきたいです。そのためには、文通している友達の見聞なども参考にしたいと思っています。

## 環境問題で

考えること

勝岡小学校 六年

今村 麻紀子



勝岡小には、緑にかこまれたみどりヶ丘という森があります。この森には、大きな木が何本もあり、虫や鳥たちの住みかになっています。そこには、テーブルといすが置いてあり、そこで野外給食をしたりします。また、去年のみどりヶ丘に、しいたけ園ができました。そこでとれたしいたけを使って調理実習もしました。秋になるとどんぐりやしいの実をと

て楽しむこともできます。緑あふれた、このみどりヶ丘私たちが勝岡小の自慢でもありシンボルでもあります。

一方、私たちの身近なところでは、工場のけむりや車の排気ガスで、大気のがれがひどくなってきました。さらに、石油、石炭、天然ガスが燃やすことによって二酸化炭素が大量にふえて、気温が上がるという問題にもなっています。

この他にも、オゾン層のほかいや、生活排水による海や川のごれの問題もあります。人間は自分たちがつくりあげた、科学の力と文明の発展によって自然を、動物を、植物をそして、私たち人間自身をはいいつつあります。

私はみどりの少年団に入っています。みどりの少年団は、自然を守り、育て、また、増やしていこうと努力しています。私がみどりの少年団に入ろうと思った訳は、このような問題を少しでも防

げるかもしれないと思ったからです。ほんの一部の人間にすぎない私たちですが、少しずつでも、自然を守ってあげたいのです。一人一つ花をうえるだけで、たくさんの命が生まれます。ですから、毎年私たちがみどりの少年団はパレードといっしょに球根を配っています。また、いろんな所に木をうえ

ることは弟にまかせようとも思っていたが、長男という義務感も次第に感じていくのも本当のところだ。最終的には、自分で決めるしかないと思った。

教師になるためには、勉強を中心とした進学を尽くせばいい。ミュージシャンになるためには、いろんな方法があると思うが、高校までは普通に卒業して、高校卒業後にバンドのメンバーに入れてもらうか、自分でメンバーを募るかして、ストリートライブなどの苦労も重ねてメジャーデビューへという夢を描いている。

今は、どうしてもミュージシャンへの夢は捨て切れない。ミュージシャンへの気持ちの方が大きいのが正直な今の気持ちである。

ある漫画の一節にこういう言葉が書いてあった。「たとえ、遠回りになっても、一日一日を充実した日にしていけば、どんな将来だろうと自分の納得のいく将来になっているんじゃないのか？」

今、迷っている僕に一番しっくりくる言葉だった。とにかく、毎日充実させることに取り組んでいこうと思う。いずれの道にせよ、現実と夢との狭間に迷いながら、自分の納得のいく将来にしていこうと思う。大いに迷い、大いに苦しむ、悔いすることなく、たった1度の人生を充実させたい。





## 地域の高齢者とのふれあい

梶山のひまわり保育園（加治屋ミヲ子園長 園児39名）では、11月13日、地元の高齢者を招いて、芋掘り大会を行いました。

この催しは、園児が高齢者とのふれあいを通じて、優しい気持ちを育てようと、2年前から実施しているもの。

この日は、北風の吹く寒い日でしたが、園児達はなんのその。洋服を真っ黒にしなが「ほら、見てー！すごいだろー」と芋掘りに一生懸命。参加された皆さんは、園児達と芋掘りを終えた後、一緒になって、保育園が用意した手作りの弁当を食べ、楽しい一時を過ごしました。

## ケーキづくり初挑戦

ひまわり作業所（7人）とかりんの園（9人）に通所している知的障害者合同の一足早いクリスマスケーキづくりが、11月28日、「お菓子のさどびら」で開かれました。

この催しは、店主の佐土平澄則さん（45）の厚意によるもの。日赤奉仕団の会員で、日頃から「障害者の方々に何かしてやりたい」と、それぞれの施設に話をもち掛け、開催の運びとなりました。

初めてのケーキづくりでしたが、みんな上手に作り、うれしい様子。自宅に帰ってから食べるのを楽しみにしていました。



## 役場のお仕事頑張ってください！

みまた幼稚園（福沢晃遠園長）の年長組園児52名が、勤労感謝の日の前の、11月22日に町長室を訪れ、折り紙で作った花束を山元町長に手渡し、「役場のお仕事頑張ってください」と大きな声であいさつ。

山元町長は、「ありがとうございます。毎年、花束が届くのを楽しみにしています。これからも元気で、良い子に育ててください。」とお礼を述べました。



## 処理場の愛称決定「クリーンヒルみまた」

広報8月号で募集した「一般廃棄物埋立処分場」の愛称は、応募多数の中から、厳正な審査の結果「クリーンヒルみまた」に決定し、その表彰式が、11月9日、ふるさとまつりの会場で行われました。

名付け親になったのは、仲町に住む才田優子さん（47）。「高台にあるきれいな処理場をイメージして名前を考えました。まさか、採用されるとは夢にも思ってなかったので大変うれしいです。」と抱負を述べられました。

なお、この処理場は、平成9年度の完成を目指して現在工事が進められています。

## Photo Snap まちの話題



## 手をたずさえて50年 金婚70組を祝う！

昭和21年に結婚し、今年で50周年を迎えられたご夫婦を祝う金婚式が、このほど第7地区公民館で開かれました。

金婚式は、ご夫婦の長年の労をねぎらおうと、社会福祉協議会が11年前から行なっているもの。

今年、該当になったのは、平川利春さん（76歳）、伊ワさん（74歳）の夫妻ら70組。

式では、社協会長の山元町長が「戦後、物資不足で大変だった時代にご結婚され、激動の時代を夫婦力合わせて乗り越えてこられたと思います。これからも夫婦仲良く、いつまでも長生きしてください。」とあいさつ。

その後、それぞれに賞状と記念品が贈られました。

## 日ごろの練習成果を発揮

第20回三股町剣道練成大会が11月24日、町武道体育館で盛大に開催されました。

同大会は、権威ある剣道大会として広く県内に知られており、この日も都城、北諸郡内をはじめ、宮崎市、小林市などから149チーム、900名の剣士が参加。各部門に分かれて、熱戦が繰り広げられました。

結果は、次のとおり（優勝のみ）

- 【小学生の部】 男子低学年の部 神武館、  
男子高学年の部 朱雀館、  
女子の部 三股中央
- 【中学生の部】 男子 神武館A、女子 武徳殿
- 【高校生の部】 男子 都城東A、
- 【一般】 宮村小剣OB
- 【高校・一般】 女子個人 酒井香子



## いつもありがとう 勤労感謝の集いを開催

勤労感謝の日を前に、11月21日、勝岡小学校で「勤労感謝の集い」が開かれました。

この催しは、日ごろ、お世話になっている方々に、感謝しようと7年前から生徒が中心となって実施しているもので、今回は、花づくりを教えてください方、郷土芸能を教えてください方々、交通指導員、郵便局、給食センター職員など14名を招待。

それぞれのクラスの代表児童が、「いつもありがとうございます。これからも私たちのためによりよくお願いします。」と手作りの感謝状を読み上げ、首かざり、絵、作文などを贈りました。

手にした方々は、感無量の様子で、児童に対し「皆さんのすこやかな成長を願いながら、これからも頑張ります。」と話されました。

